

興国寺と尊氏

北九州の中世



足利尊氏とのゆかりも深い名刹 興国寺本堂

室町幕府を築いた中世の雄・足利尊氏。建武3年(1336)3月の福岡・多々良浜での合戦で後醍醐天皇側の菊池勢を下して九州を制し、その勢いで京に復帰、やがて幕府を開設した。北九州とのつながりはあまり知られていなかったが、実は田川の福智山南麓にたたずむ天目山興国寺(福智町上野)と深い縁で結ばれ、北九州近辺でもゆかりがあった。今、日本の中世への関心の高まりの中、その歴史、人、文物が見直されている。

尊氏

興国寺滞在の伝承

興国寺は後醍醐天皇時の1326年、中国浙江省に当時元での16年間の留学から帰朝した田川・弓削田出身の臨済宗僧・無隠元晦が開山した。当時は泰平寺あるいは法覚寺とも称され、1340年、元留学時の師のいた天目山にちなみ天目寺に改称した。現在の名「興国寺」

は天文13年(1544)、山口の曹洞宗大寧寺の助翁永扶が入つて改められたもの。

足利尊氏とのつながりは1336年のこと。尊氏は源氏の血統で鎌倉幕府支柱でもあったが北条氏の施政に反発して1333年、反幕に転換。京都で幕府の六波羅探題をつぶし建武元年(1334)、後醍醐天皇の建武新政発足の立役者になった。しかし新政府の公家偏重施策への武家側の反発から尊氏も新政府と対立。1336年1月、京都・多々良河原の合戦で新政府側の楠木正成、北畠顕家の軍に敗れて西方に退却、2月29日、赤間ヶ関から芦屋へ渡つて初めて九州入りした。間もない3月2日、福岡・多々良浜で肥後・菊池軍を中心とする後醍醐天皇擁護側に大勝、4月に上洛を始めた。確証は無いが、興国寺にはその間の九州滞在の折に訪れていた、との伝承がある。横山哲志住職によると、当時、

この地を含む豊前領主だった豊後・大友貞宗の息・氏時が、三方を山に囲まれ敵から護る絶好の地として尊氏を案内したといわれる。大友貞宗と天目寺開山の元晦禪師は母親を通しての従兄の間柄。玄晦禪師の元への渡航も貞宗が支援するなど密接な関係だった。貞宗の仲介で尊氏と玄晦禪師のつながりも深まったとみられるという。寺域内には、尊氏が滞在中、身を隠していたという隠れ穴と称されるものなども残されている。「尊氏はこの地で、天下への道



足利尊氏が興国寺(当時は天目寺)に出した寄進状 <興国寺蔵 北九州市立自然史・歴史博物館提供>

を静かに考えていたのではないのでしょうか。その後の1340年、この寺を全国で初めて安国寺に指定しました」と横山住職。「安国寺」とは、尊氏と弟の直義が、後醍醐天皇の霊、戦乱による全国犠牲者の慰霊のため、奈良時代の国分寺の例に習って二国一寺、全国66か寺を設定した。「ここは尊氏の思いが生きているお寺です」と横山住職は話す。

門司武士団ら 尊氏を天下人に

1336年4月の上洛時、尊氏は、楠木正成との有名な湊川の戦いを始めとして畿内各地で合戦を展開。その軍には北九州からも門司の下総次郎三郎親胤(後、子孫が門司に改称)、長野助豊、筑前の麻生家宗ら多くの武士が加わっていた。なかでも下総親胤は、尊氏が1333年8月に六波羅探題を滅亡させた直後に彼のもとに馳せ参じるなどしていた。上洛時の湊川などの戦いで戦功を挙げ、尊氏から感状を得ている。北九州市立自然史・歴史博物館の守友隆学芸員は「彼ら北部九州の武家領主たちが従ったからこそ尊氏は京に復帰できた。

彼らが天下人に押し上げた。尊氏はまた1342年、豊前国の安国寺に指定した天目寺に領地を寄進しているが、その寄進状は、同寺への敬意をほらつた書式になっている」と話す。北九州にはまた、後醍醐天皇側近で「神皇正統記」著者・北畠親房の孫・信親のご子孫がある。信親は後醍醐天皇の息・懐良親王を伴って九州入りし南朝勢力の拡張に尽くした。伯父は京で尊氏の軍勢を破り都落ちさせた北畠顕家。

今、「実は尊氏は後醍醐天皇で満足していた」とする中世史家・呉座勇一氏らの説が話題を呼んでいる。複雑怪奇な中世の新たな論議となるかもしれない。シニアスタッフ 村田和夫



興国寺の歴史を紹介する 横山哲志住職

◆北九州歴史文化塾◆

興国寺と尊氏

北九州の中世

上野焼で知られる田川郡福智町の福智山麓。その窯群の山手に天目山興国寺はある。中国・元で16年間学び帰朝した地元田川市弓削田出身の無隠玄晦禪師が開山。1340年、天目寺に改称し、室町幕府を開いた足利尊氏が後醍醐天皇や戦乱の犠牲者を祀るため豊前国の安国寺に指定し、所領も寄進した。北九州の中世を知るのに欠かせない人、所であり現地で学びます。

第36回 北九州歴史文化塾 行程表 興国寺～足利尊氏の足跡

時間	行程
10:00	城野駅南口集合
11:15	興国寺(田川郡福智町) 足利尊氏の足跡
12:30	(昼食各自) 日王の湯レストラン
13:30	福智町歴史散策
16:00	城野駅南口解散

開催日時 4月2日(木)10:00～16:00
 集合場所 城野駅南口集合
 講師 北九州シニア応援団スタッフ
 受講料 SAKURA 倶楽部会員 2000円
 (車・保険込) ※昼食各自 一般 2500円
 参加申し込み・お問い合わせ さくら編集部 ☎ 093-965-6080